

令和6年 3 月 5 日

令和5年度鳥取大学一般選抜(前期日程)理科(生物基礎・生物)における
採点ミスについて

昨年、令和5年2月25日(土)に本学において実施いたしました一般選抜前期日程の理科(生物基礎・生物)において、入試ミス(採点ミス)があったことが判明いたしました。ミスの内容及び対応については下記のとおりです。

また、このことに伴い、現在ホームページ上で公表中の当該科目解答例を訂正いたします。

記

1. 入試区分

令和5年度鳥取大学入学者一般選抜(前期日程)

2. 試験実施日

令和5年2月25日(土)

3. 合格発表日

令和5年3月7日(火)

4. 採点ミスのあった科目・受験者数

理科(生物基礎・生物)・受験者数343人

5. 当該科目を課した学部・学科(いずれも選択科目として)

医学部(医学科、生命科学科)

工学部(化学バイオ系学科)

農学部(生命環境農学科、共同獣医学科)

6. ミス判明の経緯

令和6年1月26日に学外者から、公表中の解答例に誤りがあるのではないかと指摘があり、指摘内容に関する検証及び答案の再点検を行った結果、採点ミスがあったことが判明しました。

7. 採点ミスのあった設問

大問Ⅴ(1) ①

8. 採点ミスの内容

問 題

Ⅴ 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

ある一定地域で生活する同じ生物種の個体の集まりを個体群と呼ぶ。スギの植栽地(スギ人工林)を構成する植栽木も個体群の一つととらえることができる。植栽密度を高くすると個体間の(①)がはげしくなる。その結果、成

長の低下や枯死木の増加が見られるようになる。…(以下略)…

〔1〕 (①)(②)に入る適切な語句を答えよ。

解答例

誤) 競争(種間競争, 生存競争)

正) 競争(種内競争, 種間競争, 生存競争)

上記設問①については、正解を「競争」(別解として「種間競争」「生存競争」も可)として採点を行っていました。

学外者からの指摘を受けて、検証及び答案の再点検を行った結果、「競争」、「種間競争」及び「生存競争」に加えて「種内競争」も別解として認められるべきでしたが、「種内競争」は不正解として採点が行われていたことが判明しました。

9. 当該設問の配点

100点満点中1点

(この点数を各学部・学科の配点に合わせて計算した傾斜点を合否判定に使用)

10. 対 応

当該設問について採点をやり直し、「種内競争」と解答された答案も正解として得点修正を行った後、合否判定資料を再作成し、改めて合否判定を行い、その結果合否判定結果に影響はないことを確認しました。

以上